

わくわく中国文化



—三国志から四字熟語を勉強しよう⑥—

Illustration by KOH_HSL(instagram)

著者の一言



皆さん、四字熟語は難しいと思いませんか。中国語の四字熟語の多くは古書や典故から来ています。その由来を知っておけば、四字熟語も覚えやすくなると思います。今年度は日本でも有名な中国の「三国志」に関する四字熟語を紹介したいと思います。中国語をもっと上達させたい人や三国志に興味を持った人や四字熟語をもっと身につけたい人にふさわしい内容をたっぷり載せますので、ご覧いただければ幸いです。今回はこのシリーズの最終回になります。

横行无忌(héng xíng wú jì)

汉语成语，指倚仗暴力毫无顾忌地干坏事。描述坏人作恶行为，是一个贬义成语。语义上由“横行”和“无忌”复合构成，“横行”指依仗势力粗暴行事，“无忌”强调肆无忌惮的心理状态。初见于《三国演义》第十三回“横行无忌，朝廷无人敢言”，生动描绘了李傕、郭汜把持东汉朝政的历史场面。

「横行無忌（おうこうむき）」

四字熟語です。勝手気ままに暴れ回ったり、悪事を行ったりするということです。悪人は悪いことをしまくる様子を表す貶義語です。「横行」と「無忌」の二つの言葉から組み合わせます。「横行」とは権力や勢力を頼りにして乱暴に振る舞うということです。「無忌」とはやりたい放題に行動するという心理状態を表します。この四字熟語の最初の出典の『三国演义』第13回に「横行無忌で、朝廷中反論する人は一人たりともいない」という李傕（りかく）と郭汜（かくし）が後漢朝廷を一手に握るシーンが生き生きと描かれています。

横行无忌

◀ 『横行無忌』 / (Baidu)



◀ 『郭汜』 / (Baidu)



◀ 『李傕』 / (Baidu)

虎入羊群 (hǔ rù yáng qún)

"虎入羊群"为汉语成语，本义指老虎冲进羊群，通过虎与羊的强弱对比，暗示力量悬殊的对抗关系，比喻强大者冲入柔弱者中肆意施威。该成语最早出自《三国演义》第十一回，通过"孔融望见太史慈与关、张赶杀贼众，如虎入羊群，纵横莫当"的场景描写来呈现。

虎入羊群

▲ 『虎入羊群』 / (Baidu)



◀ 『孔融』 / (Baidu)

「虎入羊群 (こにゆうようぐん)」

四字熟語です。本義は虎が羊の群れに飛び込むことです。虎と羊の強弱の対比を通じて圧倒的な力の差による対抗関係を暗示して、強者が弱者の間において、思うがままに振舞うことを比喩します。この四字熟語は『三国演义』第11回に、孔融（こうゆう）が、太史慈（たいしじ）や関羽、張飛が敵兵を撃ち破る様子を「虎入羊群、縦横莫當（虎が羊の群れに入るが如く、縦横無尽に暴れ、誰も防ぐことができない）」と描写した場面が元になっています。

秘而不宣(mì ér bù xuān)

坚守秘密，不宣扬出去，防止让他人知晓。该成语出自《三国志·吕蒙传》“密为肃陈三策；肃敬受之；秘而不宣”的记载。含义为严守秘密而不对外公开。该成语现在多用于商业谈判，政治外交等领域。

「秘して宣せず(ひしてせんせず)」

秘密を厳重に守って、公に発表しないで他人が知られるのを防ぐという意味です。この四字熟語は『三国志・呂蒙伝』から出たものです。「密為肅陳三策、肅敬受之、秘而不宣（密かに魯肅（ろしゅく）のために三策を陳（の）べ、肅は敬受す、秘して宣せず）」に初出しました。知っている秘密や情報を隠して、公表しないことを意味します。この四字熟語は現在主にビジネス商談や政治外交における分野に用いられます。

秘而不宣

◀ 『秘して宣せず』 / (Baidu)